

整理番号	HT26005	分野	生物・農学	(キーワード) 農業・環境
------	---------	----	-------	---------------

北海道大学

【農地を改良する緑肥作物をみてみよう】

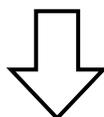
先生(代表者)	荒木 肇(あらき はじめ)・北方生物圏フィールド科学センター・教授		
自己紹介	北海道・栗山町のタマネギ農家の出身。高校時代は山岳部。新潟で12年の生活。大リーグ大好き。趣味はテニスや推理小説。農業生産での自然エネルギー活用も研究中。		
開催日時・主な募集対象	平成26年 8月17日(日)	(対象) 高校生	(人数) 20名
集合場所・時間	北海道大学・北方生物圏フィールド科学センター(センター庁舎)	(集合時間) 8:45	
開催会場(集合場所)	北海道大学・北方生物圏フィールド科学センター生物生産研究農場(センター庁舎) 住所:〒060-0811 札幌市北区北11条西10丁目 アクセスマップ: http://www.fsc.hokudai.ac.jp/farm/access/sapporo/		
内 容			
<p>人間が栽培する作物は多様で、食用、飼料や工芸原料の他に、圃場環境を改善する植物群も存在します。これらは緑肥(カバークロップ)と呼ばれて、農地が長期にわたって生産力を維持することに貢献し、農耕地改良の生物学的なツールとされています。本プログラムでは、多様な緑肥を活用した農地環境改善を観察します(風除け・雑草抑制・水分保持・地温安定・養分供給等)。マメ科緑肥には根粒が着生しています。マメ科緑肥を導入した圃場の土壌養分やトマトの生育を測定します。大都会にある広大な北大農場の多数の作物も観察してください。</p>		 <p>マメ科緑肥・ヘアリーベッチ。土壌中で分解、放出された養分をトマトが吸収。</p>	
スケジュール		持 ち 物	
<p>8:45～ 9:00 受付 9:00～ 9:15 開講式(オリエンテーション、科研費の説明) 9:15～ 9:45 講義「多様な作物」 9:45～11:00 圃場での緑肥観察 根粒菌観察 11:00～12:00 トマトハウスでの緑肥効果調査とトマト収穫 12:00～13:00 昼食休憩 13:00～14:00 簡単な土壌分析 栄養診断 14:00～14:30 北大農場での多様な作物の観察 14:30～15:00 おやつタイム、アンケート記入 15:00～15:30 修了式、未来博士号授与 15:30 終了・解散</p>		<p>筆記用具 作物採取のために、軍手または手袋(薄手)</p>	
		特 記 事 項	
		<p>屋外のため帽子着用 雨天時は、屋外調査を減らして室内実験を長くする等、プログラムの変更あり。ただし、集合時刻は変更なし。</p>	

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名：	北海道大学北方生物圏フィールド科学センター学術協力担当 高橋 裕美子(たかはし ゆみこ)
住所：	〒060-0811札幌市北区北11条西10丁目
TEL 番号：	011-706-2572
FAX 番号：	011-706-4930
E-mail：	kyoryoku@fsc.hokudai.ac.jp
申込締切日：	平成26年8月1日(金)

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
荒木 肇	H21-23	基盤研究(B)	21380151	カバークロップの導入による省資源・温暖化ガス抑制型の有機栽培の確立



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。